

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.52

2022 7月 - 9月

2022 7/10 発行

TAKE FREE



Sinfonia

シンフォニア

五

嶋

み

ど

り

M i d o r i

The Symphony Hall 開館40周年記念シリーズ

世界の巨匠とともに

五嶋みどりデビュー40周年×
ザ・シンフォニーホール開館40周年
特別公演

Close Up

ダニエル・バレンボイム指揮 ベルリン国立歌劇場管弦楽団 大阪公演

シャルル・リシャール＝アムラン ピアノ・リサイタル

Best of Orchestra The Symphony Hall

×関西4オケスペシャルコンサート

ほか

ゲルハルト・オピッツ プレミアム ピアノ・リサイタル

ドイツ正統派を代表する巨匠、
自ら選定したピアノで
円熟の境地を響かせる！



オピッツは極上の音色の持ち主。日本を代表するコンサートホールとして、数々の名演の舞台となってきたザ・シンフォニーホール。今年開館40周年を迎え、世界の巨匠シリーズと題したプレミアムコンサートが、11月から3回シリーズで開催される。この目玉企画で先陣を切るのが、世界的巨匠ゲルハルト・オピッツによるピアノ・リサイタルだ。

1953年生まれのオピッツは、戦後ドイツを代表する無二の名手として、近年に至ってもさなる輝きを増している存在。「今もっとも聞きたいピアニスト」のひとりに数えられる。彼の歩みはまさにドイツ音楽の正統派だ。11歳にしてモーツァルトのピアノ協奏曲を弾く程の神童だった彼の転機は、特にベートーヴェンの演奏で一時代を築いた往年の名匠ヴィルヘルム・ケンプに師事したこと。正統派の薫陶を受けたオピッツは、1977年に第2回アルトゥール・ルービンシュタインコンクールで優勝。1981年には若くして

今回のザ・シンフォニーホールでのリサイタルは、全曲録音も手掛けたオピッツの金字塔であるベートーヴェンとドイツ・ロマン派のシューマン。「ベートーヴェンの音楽はインスピレーションの永遠の源です」と語る彼は、第17番「テンペスト」と第21番「ワルトシュタイン」の2曲のソナタを選曲した。いずれもベートーヴェン自身の激動の人生とも重なる名作で、味わい深い珠

[ピアノ]ゲルハルト・オピッツ

ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ 第17番 二短調 op.31-2「テンペスト」
／ピアノ・ソナタ 第21番 ハ長調 op.53「ワルトシュタイン」／シューマン「子供の情景」op.15／ピアノ・ソナタ 第1番 嬰へ短調 op.11

2022.11/19(土) 2:00PM

SS 10,000円 S 8,000円 A 6,000円 (税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

玉の演奏が期待されよう。シューマンからは、繊細なミクロコスモスを描き出している「子供の情景」、そしてピアノ・ソナタ第一番という組み合わせだ。オピッツは極上の音色の持ち主でもある。温かく語りかけてくるようなシューマンの世界を垣間見ることができよう。

オピッツが今回弾くピアノは、ザ・シンフォニーホールのスタインウェイピアノ。2018年の来日時に、「なかなか巡り会えない素晴らしいピアノ」と彼が選定した楽器だ。選定後、初めて弾くお気に入りのスタインウェイとともに、オピッツはザ・シンフォニーホールで、新たな名演の歴史を刻むにちがいない。

(文 伊藤制子)

TheSymphonyHall 開館40周年記念シリーズ

世界の巨匠とともに



40周年イヤーのハイライトとなる3大プレミアムコンサート！

2022.11/19(土) 2:00PM

発売中

ゲルハルト・オピッツ プレミアム ピアノ・リサイタル

[ピアノ]ゲルハルト・オピッツ

ドイツ出身であり、ドイツ・ピアノ主義の正統な継承者として、半世紀以上に渡り世界で活躍を続ける、ゲルハルト・オピッツ。ザ・シンフォニーホールでの待望のリサイタルでは、ベートーヴェンとシューマンを演奏する。奇をてらうことのない純真な音色は、すべてのピアノファンの心に力強くそして優しく届くだろう。



©Concerto Winderstein

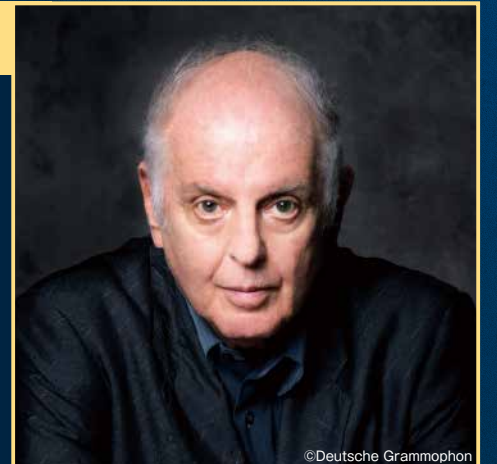
2022.12/3(土) 5:00PM

先行予約:7/24(日) 一般発売:7/31(日)

ダニエル・バレンボイム指揮 ベルリン国立歌劇場管弦楽団 大阪公演

[指揮]ダニエル・バレンボイム [管弦楽]ベルリン国立歌劇場管弦楽団(シュターツカペレ・ベルリン)

80歳を迎えてもなお、世界中から注目を集めているダニエル・バレンボイム。世界最高峰の名門オーケストラとの共演、グラミー賞をはじめ数々の受賞歴を誇るまさに世界的巨匠が、30年に及び音楽総監督を務めるベルリン国立歌劇場管弦楽団と来演する。ザ・シンフォニーホールの名演の歴史に新たな1ページを刻むだろう。



©Deutsche Grammophon

2023.1/21(土) 2:00PM

先行予約:7/23(土) 一般発売:7/31(日)

五嶋みどりデビュー40周年×ザ・シンフォニーホール開館40周年 特別公演

[ヴァイオリン]五嶋みどり [指揮]高関 健 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

五嶋みどりが故郷・大阪そして、5年ぶりにザ・シンフォニーホールに帰ってくる!彼女とホールのダブルアニバーサリーを祝して開催するのは、指揮 高関 健、日本センチュリー交響楽団とのコンチェルト。音楽の真髄を感じられる五嶋の演奏はオーケストラとどのような融合を見せるのか、40周年記念イヤーを飾るまさに特別公演となる。



©TimothyGreenfield-Sanders

プラチナセット券 好評発売中！

3公演同じお座席で楽しめる「プラチナセット券」が発売中！
ここでしか見ることができないプレミアムコンサート!感動のシーンをお見逃しなく。
プラチナセット券 63,000円(税込)



せる中で、多くの人たちのサポートが在るのを忘れていた時もあったように、正直傲慢だったな、と反省しきりです。活動の原動力は創造力でしょうか」

デビューから40年間、常に大切にしてきたことは？

「幼いころからステージで演奏させていただきましたから、まず、自分の演奏が自分なりに責任のとれる為に練習に励みました。これは当たり前なことですね。成長してからはこれ以外に大切に思うべきことを学びました。『感謝』です」

音楽に携わる、目指す人々へやりがいを感じる社会へ

これまで、五嶋みどりは、ニューヨークと東京に音楽教育のための非営利団体を立ち上げるなど、社会貢献活動に積極的に取り組んできた。また、南カリフォルニア大学ソーンストン音楽学校を経て、2018年からはアメリカの名門、カーティス音楽院で教鞭を執るなど、熱心な後進の指導にもあたっている。そのやりがいや新たなチャレンジについて、彼女はこう述べる。

「やりがいは自己満足でもあるわけで、社会に良い影響があったかどうかはわかりません。後進指導も同じくです。でも自己が満足するだけのものを実行していきたいと思っています。新しいチャレンジは、今までの活動をもっと充実させて、音楽に携わる、目指す人々がやりがいを感じる社会へと。それにはメディアの協力が大きな力ですから、サポートをお願いしたいです」

世界的なヴァイオリニストである五嶋みどりは、いうまでもなく多忙であるが、教え子にはいつも真摯に向き合う。そんな彼女が若いヴァイオリニストに特に伝えた

「いうまでもなくダイナミックでセンシティブに時代を超えて多くの方々の心に響く曲」

オール・チャイコフスキー・プログラムは

「まず自分の置かれている立ち位置がどれ程恵まれているか、あなただから出来ることはいっぱいある、と自覚してほしいです」

支え励まし続けて下さった方々がこの地に居られるという安堵感

五嶋みどりは、バロックから現代まで幅広いレパートリーを誇る。これから取り組んでいきたいレパートリーについてはこう語る。

「私の知る限りでも多くの素晴らしい新しい曲、殆ど埋もれている曲が在ります。それを広めることは演奏家の使命だと思っているので、機会を窺って公の場で発表したいです」

2023年1月のコンサートでは、高関健&日本センチュリー交響楽団とチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲を共演する。五嶋みどりは、この名曲を、かつてクラウディオ・アバド&ベルリン・フィルと録音するなど、十八番のレパートリーのひとつとしている。今回、この名曲を選んだ理由については、「いうまでもなくダイナミックでセンシティブに時代を超えて多くの方々の心に響く曲であること」をあげている。

この日のコンサートでは、オール・チャイコフスキー・プログラムが組まれ、「イタリア奇想曲」「幻想序曲「ロメオとジュリエット」」とともに、チャイコフスキーの魅力が満喫できる。

五嶋みどりは大阪府枚方市出身である。故郷・大阪への特別な感情をきいた。



Interview

五嶋みどり

デビュー40周年×ザ・シンフォニーホール開館40周年 特別公演

五嶋みどり、
5年ぶりの来演は
極上のチャイコフスキー
コンチェルト。

想像もしなかったことばかりが起こった

五嶋みどりが、ザ・シンフォニーホールの開館40周年を祝して、大阪に帰ってくる。今年は奇しくも彼女自身のデビュー40周年も重なり、まさにメモリアルな公演となる。

五嶋みどりは、1982年にニューヨークのジュリアード音楽院で名教師ドロシー・ディレイに師事するため、アメリカに渡った。そして、その年の12月30日、サブライズ・ゲストとして、ズービン・メータ&ニューヨーク・フィルのコンサートでバガニーニのヴァイオリン協奏曲第1番の第1楽章を弾いて、弱冠11歳でセンセーショナルなデビューを飾った。あれから40年の月日が流れたのである。今回、彼女にメル・インタビュウを行い、デビュー40周年の感想や来年1月のコンサートへの抱負をきいた。

「40年なんて考えられないほど、これって『光陰矢の如し』と言うのでしょうか。じっくり思い返してみると、大阪を後にしてから想像もしなかったことばかりが起こったようです。誰しも将来のことについては未知ですが、私の場合はいつも明日、自分の出来ることとは何か、と考えていたと思います。その目的に向かって構想を巡ら

「3年ぶりに降り立った空港で何だかこんなに変わるのか、と感じるくらいですから、私の40年前の故郷は遠い思い出になりつつあるでしょう。でも変わらないのは、私を支え励まし続けて下さった方々が間違いなくこの地に居られるという安堵感が特別であるということだと思っています」

5年ぶりのザ・シンフォニーホールのステージへのメッセーじは、「帰ってきました、です」。ザ・シンフォニーホールにとっての、そして自身にとってのメモリアル・イヤーの公演を、五嶋みどりは、誰よりも楽しみにしている。

(文 山田治生)

[ヴァイオリン]五嶋みどり [指揮]高関 健
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

チャイコフスキー:イタリア奇想曲 op.45/幻想序曲「ロメオとジュリエット」/
ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35

2023.1/21(土) 2:00PM

S 15,000円 A 13,000円 B 11,000円 (税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:7/23(土) 一般発売:7/31(日)

世界屈指の巨匠 80歳のバレンボイム。
17年ぶりにザ・シンフォニーホールに登場！

ダニエル・バレンボイム 指揮

ベルリン国立歌劇場管弦楽団 (シュターツカペレ・ベルリン) 大阪公演

©Holger Kettner

ベルリン国立歌劇場管弦楽団との特別な関係は唯一無二

ダニエル・バレンボイム&ベルリン国立歌劇場管弦楽団(シュターツカペレ・ベルリン)が17年振りにザ・シンフォニーホールに帰ってくる。バレンボイムはいまでもなく、現代最高峰の巨匠指揮者であり、ピアニストである。1942年にブエノスアイレスで生まれ、7歳でピアニストとしてデビューした神童は、フルトヴェングラーにもその才能を認められた。今年80歳を迎えるが、現在も精力的な活動を続けている。近年、ピアニストとしては、コロナ禍にもかかわらず昨年6月緊急来日し、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ集を披露。指揮者としては、2019年にベルリン・フィルから名誉指揮者の称号を受け、今年3月、同フィルでヴェルディの「レクイエム」を指揮。2022年元日のウィーン・フィルのニューイヤール・コンサートでもタクトを執るなど、常に世界中から注目される。



©Manika Rittershaus

ている。

バレンボイムは、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、シカゴ交響楽団、パリ管弦楽団、ミラノ・スカラ座、バイロイト音楽祭など、世界最高峰のオーケストラや歌劇場での活躍が知られているが、30年間にわたって音楽総監督を務めるベルリン国立歌劇場及び同管弦楽団との特別な関係は唯一無二といえる。個人的には、2016年2月、東京でのブルックナー交響曲ツィクルス(0番、00番を除く全曲)での骨太で重厚でスケールの大きな名演が思い出される。オーケストラもすべての音に気がこもっていた。

とりわけ交響曲第5番の終楽章は異次元に連れて行かれるような圧倒的な名演であった。また、ブルックナーと合わせて、バレンボイムの弾き振りで演奏されたモーツァルトのピアノ協奏曲では、一人のカリスマ的巨匠を中心として、オーケストラの隅々まで彼の意志が浸透しているような類い稀なる一体感を味わった。

今回の公演では、ブラームスの交響曲第1番と第2番が取り上げられる。バレンボイム&ベルリン国立歌劇場管弦楽団のコンビは、2017年にベルリンに新しくできたピエール・ブーレーズ・ザールでブラームスの交響曲全集を録

音したばかりである。そのディスクでは、まさにバレンボイムの円熟を感じさせる、重厚で、雄大な演奏を聴くことができる。開館40周年を迎えたザ・シンフォニーホールでは、1985年のバインスタイン&イスラエル・フィルによるブラームスの交響曲第1番の名演が伝説となっているが、今回、バレンボイムが、最も信頼するパートナーであるベルリン国立歌劇場管弦楽団とともに、ドイツ音楽の真髄に触れる壮大なブラームスの名演を聴かせてくれることであろう。

(文 山田治生)

[指揮]ダニエル・バレンボイム

[管弦楽]ベルリン国立歌劇場管弦楽団(シュターツカペレ・ベルリン)

ブラームス 交響曲 第1番 ハ短調 op.68/交響曲 第2番 二長調 op.73 ほか

2022.12/3(土) 5:00PM

S 28,000円 A 24,000円 B 18,000円 (税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:7/24(日) 一般発売:7/31(日)



協奏曲の名曲をトップ・アーティストの演奏で味わい尽くす名物企画「熱狂コンチェルト」。今回は大注目の人気チェリストが集結！

前号（Vol.51）では3人揃ったの集合インタビューをお届けし、同じ楽器のプレイヤー同士、お互いの関係性などを紹介したが、今回はそれぞれが演奏をする作品を深掘りしてみよう！

【佐藤晴真】

2019年のミュンヘン国際音楽コンクール・チェロ部門優勝ほか、国内外で数多くの受賞歴を誇る俊英。名門ドイツ・グラモフォンより2020年、2021年にリリースされた2作のアルバムは続けざまに好評を博している。

ザ・シンフォニーホールでは昨年9月に久石譲の指揮で、スメラのチェロ協奏曲を演奏した。そんな彼が今回演奏するのは、ハイドンが残したチェロ協奏曲として有名な第1番。多くの点でバロック

様式の名残が見られるが、巨匠30代の創作意欲に溢れた傑作を佐藤がどのように魅せてくれるのか、楽しみだ。

【横坂源】

近年の人気企画「3大協奏曲」シリーズにはこれまで3度出演し、ドヴォルザーク作品を2回、ハイドン作品（第1番）を1回演奏。ソリリサイタル「eiegay」も2年連続で開催して成功を収めるなど、ここザ・シンフォニーホールではすっかりお馴染み。今回はエルガーのチェロ協奏曲に挑み、「チェロ3大協奏曲」のひとりコンプリートを目指す。本作は《威風堂々》などでも知られるエルガーが、第一次世界大戦末期の頃に病床で書き上げた作品。42歳で病死した伝説的な女性チェリスト、ジャクリーヌ・デュ・プレが残した名盤によって（彼女の悲劇的な後半生とも相まって）永遠の名曲となっている。横坂の魂のこもった音色に注目してほしい。

【宮田大】

2009年のロストロポヴィチ国際チェロコンクールに日本人として初優勝以来、その圧倒的な演奏で聴衆を魅了。近年はトップ・ギタリストの大萩康司とのデュオアルバム「トラヴェローグ」やピアノ作品をバンドネオンの三浦一馬ら豪華共演者と共に収録した最新盤『ピアノ』でも注目を集めるなど、チェロの可能性をさらに切り拓くような独創的な企画で、ファンを沸かせている。そんな彼が演奏するのは、チェコ国民楽派を代表する作曲家ドヴォルザークのチェロ協奏曲。コンチェルトというジャンルの最高傑作との呼び声も高く、特に厳かに歌い上げる圧巻のフィナーレは必聴だ。

この3人が同じステージに登場するこの絶好の機会をどうかお聴き逃しなく！

（文 東端哲也）

[チェロ] 佐藤晴真、横坂 源、宮田 大 [指揮] 飯森範親
[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

ハイドン: チェロ協奏曲 第1番 ハ長調 Hob.VIIb:1 [佐藤晴真]

エルガー: チェロ協奏曲 小短調 op.85 [横坂 源]

ドヴォルザーク: チェロ協奏曲 小短調 op.104 [宮田 大]

2022.12.17(土) 2:00PM

S 7,800円 A 6,800円 B 5,800円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

Interview

2015年ショパン国際ピアノ・コンクール 第2位

シャルル・リシャール＝アムラン ピアノ・リサイタル

—All Chopin Program—



アムラン、再びザ・シンフォニーホールへ！ 完売必至！待望のリサイタル

2015年ショパン国際ピアノ・コンクールで第2位に入賞して以来、世界各地に活躍の幅を広げているシャルル・リシャール＝アムラン。
4年ぶりとなる待望のオール・ショパン・プログラム(2020年に予定していたリサイタルはコロナの影響で中止)で、深化を続けるアムランの現在を堪能してほしい。

2015年ショパン国際ピアノ・コンクール第2位のシャルル・リシャール＝アムランが4年ぶりにザ・シンフォニーホールに戻ってくる。来日を前に、カナダにいる彼に話を聞いた。

—4年ぶりの来日ですね。

前は2018年でした。その時は観光する時間がまったくなかった。翌年、観光のために二人の友達とブライヴェートで訪日しました。富士山へも行きましたよ！

食べ物はずべて美味しいです。特に、大阪スタイルのお好み焼きが好きですね。

—ショパンコンクール以降、ピアニストとして変化した部分を教えてください。

私の人生は劇的に変わりました。コンクルの前は、カナダ国外で演奏する機会はほとんどありませんでしたが、コンクル受賞は、自分にとって世界中のさまざまな劇場の扉を開いたと言えます。

そのなかで最も大切にしているのは、日本のお客様との関係です。コンクルのあと、毎年のように日本で演奏できるようになり、ザ・シンフォニーホールでもこれまで4回演奏させていただきました。

—今年は特にご多忙だそうですね。

書かれました。本番のときはそのハンカチをお守りとして持っています。コンサートで演奏することですが、私にとって大変なことですが、そのハンカチを見るたびに、自分がステージで演奏する意味を思い起こさせてくれます。

—お客様へメッセージをお願いします。

コロナ禍で延期という言葉は聞くたびにとても悲しくなっていたのですが、今回は再び大阪を訪れることができるので、嬉しくたまります。皆さまの前で演奏できることを楽しみにしています。

(取材・文 道下京子)

ね。

その忙しさもコンクルのおかげだと思っています。今年は、ピアノ協奏曲だけでも11曲演奏します。ケベックの音楽祭では、モーツァルトの《2台のためのピアノ協奏曲》を、私と同じ名前前で私も有名なアムラン（マルク・アンドレ・アムラン）さんと共演しました。

コロナ禍に《24のプレリュード》をレコーディングしましたが、今年の日本ツアーで演奏します。
音楽は自分のなかにある感情を表現する手段
—今回のプログラムのコンセプトを教えてください。

単に、ショパンの作品によるリサイタルではなく、ロマン派の音楽を前面に出したプログラムです。

《24のプレリュード》と《ピアノ・ソナタ第2番》は偉大な作品です。ショパンの音楽には、「優しい」とか「きれい」という形容詞が使われます。でも、特に《ピアノ・ソナタ第2番》は暗く激しい音楽です。そのようなショパンの別の側面、つまり、暗いショパンもいまの時代にはあっていると思います。

す。音楽は、癒しでもあります。コロナや戦争といった世界的な不安：自分のなかにある感情を表現する手段でもあるのです。それと同時に、《ピアノ・ソナタ第2番》はユニークで独創性あふれる作品だとも思っています。ロマン派のソナタを代表するような、この曲の第1楽章は最も好きな曲と言えるかもしれません。

—《アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ》は、2020年に予定されていたプログラムにも含まれていましたね。

喜びに満ちている音楽ですね。「華麗なるポロネーズ」はショパン初期の最後のころ、「アンダンテ・スピアナート」は彼の後期の作曲です。この作品は、まさにショパンの前期と後期の創作の懸け橋となるような存在と言えるでしょう。

—《24のプレリュード》は、レコーディング後もずっと弾き続けていますね。

ショパン自身は、24曲まとめては演奏せず、機会があったら1曲ずつ弾いていたようです。でも、私はその順番にもロジックがあると考えています。すべての曲が最



※写真は2018年5月12日に満席のザ・シンフォニーホールで行われたリサイタルの様子です。

後の二短調のプレリュード(第24番)に向かって進んでいると感じます。

ショパンの音楽の世界をすべて網羅した曲集で、彼のあらゆる魅力が詰まっています。ピアニストにとつては、挑戦的な曲集です。24曲のなかでお客様の好きなプレリュードが見つかると思いますよ。

感動を与える曲をたくさん残してくれたことに感謝

—いまのアムランさんにとって、ショパンはどんな存在ですか。

《24のプレリュード》は、彼のあらゆる魅力が詰まっています。

24曲のなかで、皆様の好きなプレリュードが見つかると思いますよ。

—ザ・シンフォニーホールでの想い出を教えてください。

ザ・シンフォニーホールで演奏した時に視覚障害のある15歳の女性から素敵なお手紙とハンカチをいただきました。私の演奏を聴いた後、自らも頑張っていて、さらにピアノの練習をするようになったと

[ピアノ]シャルル・リシャール＝アムラン

《オール・ショパン プログラム》アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ op.22/ピアノ・ソナタ 第2番 変ロ短調 op.35「葬送」/24の前奏曲 op.28

2022.12/11(日) 2:00PM

全席指定 5,000円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

先行予約 7/21(木) 一般発売 7/25(月)

秋は傑作映画の名曲を味わう!

速報!!

2022.10/25(火)

スリル満点映画のあの曲を続々と!
一瞬も目が離せないステージがここに。

ワールド シネマミュージック セレクション

プロジェクト
マッピング付き!!



PROGRAM

- *『スター・ウォーズ』より
- *『タイタニック』より
- *『パイレーツ・オブ・カリビアン』より
- *『ミッション:インポッシブル』より
- *『ジュラシック・パーク』より ほか

TheSymphonyHall **BY**
Super Brass
ザ・シンフォニーホール スーパーブラス
Shid! × TheSymphonyHall

[演奏]The Symphony Hall Super Brass

2022.10/25(火) 7:00PM

全席指定 6,600円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:7/21(木) 一般発売:7/25(月)

夏は親子でアニメ音楽ざんまい!

急遽決定!!

2022.8/27(土)

親子 de Brass!

〜夏休みこどもアニメスペシャル〜

プロジェクト
マッピング付き!!

TheSymphonyHall **BY**
Super Brass
ザ・シンフォニーホール スーパーブラス
Shid! × TheSymphonyHall

PROGRAM

- *組曲『宇宙戦艦ヤマト』より
- *『新世紀エヴァンゲリオン』より「残酷な天使のテーゼ」/「魂のルフラン」
- *『鬼滅の刃』よりメドレー
- *『千と千尋の神隠し』より
- *『Mr.インクレディブル』よりメドレー
- *ルパン三世のテーマ ほか

[指揮]喜多弘悦 [演奏]The Symphony Hall Super Brass

2022.8/27(土) 2:00PM

全席指定 6,600円(税込) ※4歳以上のお子様から入場可能です。

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



あの名作洋画で流れる
あの名曲をフィーチャー

そして10月に急遽決定した「ワールドシネマミュージック・セレクション」は、大ヒット洋画の名曲を揃えたコンサートです。「スター・ウォーズ」「タイタニック」「パイレーツ・オブ・カリビアン」ほか、バラエティに富んだナンバーを披露していきます。

迫力満点の生演奏を聴けば誰でも物語の主役になれるような、ハラハラ感あり、切なさあり、スリリングさありの、サウンドを続々とお届けします。

演奏するのは、2022年に誕生し、7月23日にデビューコンサートを行う、The Symphony Hall Super Brass。Osaka Shion Wind Orchestraの奏者と関西を中心に活躍する精鋭たちによって結成。めっちゃ楽しく、をモットーに意気込むメンバーたちによるステージにご期待ください。

また、この2公演はともにプロジェクト・マッピング付き!まさに見て、聴いて楽しめるエンターテインメントショーです。煌びやかな光の演出が、音楽と合わせて、どんなエキサイティングな瞬間が生まれるか、ぜひ体感してください!

あのワクワクを生演奏で!
親子で一緒に楽しもう!!

2022年、開館40周年を迎えるザ・シンフォニーホールが、8月と10月に、幅広い世代の方々に愛されているあの曲をテーマにした、2つのブラスコンサートを開催します!

8月に開催する「親子 de Brass!」夏休みこどもアニメスペシャルは、その名のとおり、大人気アニメのナンバーばかりをセレクトしたコンサートです。

夏休みこどもアニメスペシャルと聞くと、小学生時代の夏休みの楽しみのひとつとしてワクワクした「午前中にテレビで続々と放送されるアニメ祭り」を思い出します。アニメにはどの時代も人々の心を惹きつけ、釘付けにします。そして人気アニメを彩るテーマ曲も、大人になっても口ずさめてしまう程のパワーがあります。今回は、そんなアニメの中から、組曲「宇宙戦艦ヤマト」より、「新世紀エヴァンゲリオン」より「残酷な天使のテーゼ」「魂のルフラン」、「ルパン三世のテーマ」ほか、スペシャルナンバーをお送りします。

4歳以上のお子様からご入場いただけるので、親子で過ごす夏休みの最高の思い出作りとして、ぜひ遊びにきてください!



「ビッグバンドジャズの曲の中でも
有名な人気のある曲を中心に集めてみました」
『ザ・メジャー』JAZZの超王道プログラム！
“誰もが耳にしたことのある”ナンバーの魅力を
再発見する、唯一無二のステージ！

注目の最新公演は、『ザ・メジャー』と題して開催する。
プログラムには、超王道の名の通り、誰もが一度は耳にしたことがあるだろう、ジャズのスタンダードナンバーをずらりと揃えた。
躍動感と華やかさたっぷりのスウィングジャズの代表曲「シング・シング・シング」、哀愁とともにおしゃれな気分が酔わせてくれる秋にぴったりの「枯葉」。1941年に発表され、大ヒットを記録した、これぞジャズの超王道といえる「A列車で行こう」。世界中、多くのアーティストがカバーしてきたチック・コリアの名曲「スペイン」では、Big Bandの自由度高く展開されるスリリングなセッションにも期待だ！その他にも、TSHBBは、ジャズのコンサートは初めてでも、お客様にも、最高のステージで紹介したいナンバーを続々と披露していくので、楽しみにしててほしい。
我がビッグバンドの特色を存分に味わって頂けるアレンジ
今回の公演について、ミュージックディレクターを務めるトラネットの菊池寿人は、こう期待を寄せる。
「今回はビッグバンドジャズの曲の中でも有名で人気のある曲を

【演奏】The Symphony Hall Big Band

A列車で行こう／シング・シング・シング／スペイン／スターダスト／枯葉／テイク・ファイブ／チュニジアの夜／オン・ザ・サニー・サイド・オブ・ザ・ストリート ほか

2022.10/7(金) 7:00PM

全席指定 7,500円(税込)

【お問い合わせ】大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

【主催】ザ・シンフォニーホール

先行予約:7/21(木) 一般発売:7/24(日)

コンサートの前に是非！ 大迫力！心躍るスウィング！



ファーストアルバム

躍動

2,500円(税込) TSH Record TSCR-1001

中心に集めてみました。
そして我がビッグバンドの特色を存分に味わって頂けるアレンジになっていきます。是非ご来場頂き、ホールの響きと共に楽しんで頂けたらと思います。
この秋、ジャズを存分に楽しみたい方には、絶対にオススメのコンサート！お見逃しなく！

この秋、16名の精鋭たちによる
スペシャルオンステージ！



The Symphony Hall

Big Band
Vol.18 Music Director 菊池寿人

ザ・シンフォニーホール
ビッグバンド

ザ★メジャー JAZZの超王道

最新公演は、再び
16名によるオンステージ
5月にヴァイオリニスト古澤巖を迎えて、ディスコをテーマにステージを繰り広げたThe Symphony Hall Big Band (以下TSHBB)。アイズ・ウィンド&ファイアーのメドレーなど、生演奏で実現したディスコナンバーは、まさに、ザ・シンフォニーホールでしか見ることが出来ない唯一無二のコラボレーションだった。
そして、そのステージ上でTSHBBは、10月7日にシリーズ18回目となる最新公演を発表。再び、TSHBBのオンステージだ。
彼らは、2021年12月に「ベスト・ヒット・オン・ファイヤー！」と題して、シリーズで初めてゲストなしで公演を行った。コロナ禍でなかなか公演が開催できないまま1年半。もう我慢できない！としびれを切らしての、緊急招集だった。そして迎えた公演当日は、久しぶりのコンサートにもかかわらず、たくさんのお客様が足を運んでくれた。2016年の結成から現在まで、精力的にシリーズを続け、根強いファンを獲得してきたことを証明するように、ホールは熱狂に包まれた。
自由度高く展開する
スリリングな演奏に期待

プラチナセット券大好評発売中!!

The Symphony Hall×関西4オケスペシャルコンサート 全4公演の通しチケットが発売中!

全4公演すべて同じお座席でお楽しみいただけます。

特典として各公演のマエストロ全員のサイン入り色紙をプレゼント!

ザ・シンフォニー チケットセンターでのみ販売! 販売期間が限られておりますので、この機会に是非ご購入下さい!

プラチナセット券 30,000円(税込) ※特典つき

PICK UP!

2022. 10/20 (木) 7:00PM 開演

関西フィルハーモニー管弦楽団

ワーグナーの本場バイロイト音楽祭も認めた権威
颯爽としたタクトで魅せる!

大阪万博が行われた1970年に創立。以来、半世紀以上に渡り、関西の隅々まで出かけ、地元の人々と交流を持ちながら、フットワークの軽さと親しみやすさで支持を得てきた関西フィルハーモニー管弦楽団。現指揮者陣は音楽監督にオーギュスタン・デュメイ、さらに首席指揮者・藤岡幸夫、桂冠名誉指揮者・飯守泰次郎という豪華でタイプの異なる面々を配することで、プログラミングが多彩なことも魅力になっている。

今回の指揮を務める飯守は、過去に同フィルの常任指揮者も務め、20年以上に及ぶ盟友関係を築き上げてきた間柄。彼はまたドイツでの活動が長く、同国のオペラや管弦楽作品の解釈において世界有数のマエストロと讃えられてきた。

今回の公演は、前半にワーグナーの歌劇「タンホイザー」序曲を演奏。中世のタンホイザー伝説とヴァルトブルク城の歌合戦を題材にした人気オペラの序曲で、単独の演奏機会も数多い。飯守はワーグナーの本場バイロイト音楽祭も認めた権威なので、今回も颯爽と見通しのよいタクトで幕開けを飾ることだろう。

そしてブルックナーの交響曲第4番「ロマンティック」。飯守は2011年からブルックナーの交響曲ツィクルスを始め、今年3月に全11曲を見事完奏。その解釈と作品愛の深さもやはり世界有数と言えるだろう。彼の交響曲は長大なことで知られるが、この第4番は比較的演奏時間が短く、副題そのままの親しみやすい曲想なので、入門にもおすすめ。それを飯守&関西フィルの強力

タッグで聴けるとくれば、是非ともザ・シンフォニーホールの客席で、その豊かな響きに身を委ねていただきたい。

2025年に2度目の大阪万博を控え、同じ年に創立55周年を迎えることから、さらなる躍進が期待される同フィル。今年82歳を迎え、円熟と情熱をますます重ねる飯守と共に歩む今後の道標になるような公演になることだろう。(文 渡辺謙太郎)



指揮 飯守泰次郎

ザ・シンフォニーホール開館40周年記念

Best of Orchestra

The Symphony Hall



気鋭の鬼才から円熟の巨匠まで。
関西4オーケストラの
底力を体感する!

2022.10/20 (木) 7:00PM _ Vol.2

関西フィルハーモニー管弦楽団

感動! 飯守泰次郎
渾身のブルックナー

発売中

[指揮] 飯守泰次郎
ワーグナー: 歌劇「タンホイザー」序曲
ブルックナー: 交響曲 第4番「ロマンティック」



2022.8/28 (日) 2:00PM _ Vol.1

大阪交響楽団

躍動! 気鋭 原田慶太楼の
バーンスタイン

発売中

[指揮] 原田慶太楼
[ソプラノ] 森谷真理 [バリトン] 大西宇宙
バーンスタイン: 交響曲 第1番「エレミア」/ ウェスト・サイド・ストーリー「演奏会用組曲」第1番「ウェスト・サイド・ストーリー」より「シンフォニックダンス」ほか



2023.1/29 (日) 2:00PM _ Vol.4

大阪フィルハーモニー交響楽団

華麗! 尾高忠明の
緻密な「英雄の生涯」

[指揮] 尾高忠明

ベートーヴェン: 交響曲 第5番「運命」
R.シュトラウス: 交響詩「英雄の生涯」

先行予約: 7/21 (木) 一般発売: 7/31 (日)



2022.11/3 (木・祝) 2:00PM _ Vol.3

日本センチュリー交響楽団

円熟! 秋山和慶の
フランス音楽

発売中

[指揮] 秋山和慶
ベルリオーズ: 「ローマの謝肉祭」序曲 / ドビュッシー: 牧神の午後への前奏曲 / ベルリオーズ: 幻想交響曲



各公演 S 7,500円 A 6,500円 B 5,500円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 [主催] ザ・シンフォニーホール

PICK UP!

2022. 8/28 (日) 2:00PM 開演

大阪交響楽団

今、大注目の指揮者 原田慶太楼が登場!
バーンスタインの名作を贅沢に。

躍進めざましい原田慶太楼と大阪響の注目タッグ! 高校生の時に単身渡米し、マゼールやフェネルらに師事した原田。現在は米サヴァンナ・フィルの音楽監督を務める彼らしく、今回は長年縁の深いアメリカ音楽を指揮する。演目は、その王道のオール・バーンスタイン・プログラムだ。「キャンディード」序曲、交響曲第1番、「ウェスト・サイド・ストーリー」と、この作曲家の魅力が最良かつ贅沢な形で凝縮されているのが何とも嬉しい! (文 渡辺謙太郎)

指揮 原田慶太楼





バリトン 成田博之



テノール 西村悟



ソプラノ 林正子



指揮 沼尻竜典



メゾソプラノ 林美智子



ヴァイオリン 南紫音



ピアノ 長富彩



クラリネット 赤坂達三



トロンボーン 高橋克典



チェロ 笹沼樹



管弦楽 スーパー・クラシック・オーケストラ

クラシック音楽が、
コロナにより引き起こされた
様々な分断や対立を
乗り越える力となり、
心豊かな社会・輝く未来を
創る事を願って――



CLASSIC



公演WEBサイトはこちら!

文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業
(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)

※未就学児の入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。※平熱と比べて高い熱が確認された際には入場をお断りさせていただきます。※マスクを着用されていない方はご入場いただけません。※その他、感染予防対策等の詳細は、ホームページをご覧ください。



合唱 関西二期会特別合唱団

クラシック・キャラバン2022 大阪公演 クラシック音楽が世界をつなぐ
～輝く未来に向けて～

華麗なる ガラ・コンサート

今年も開催決定!
豪華アーティストが大阪に一同集結!!

全国で大好評を博した2021年に続き、今年も開催決定!日本を代表するヴェテランから若手まで、
名腕のアーティストが集結!大阪公演だけのスペシャルプログラムにご期待ください。

最初から最後まで一瞬も
目の離せない豪華ステージ

クラシック・キャラバンとは、
コロナ禍を乗り越えるために(一
社)日本クラシック音楽事業協会
が企画した公演プロジェクト。大
盛況だった昨年に引き続き、今年
は全国13か所21公演が開催され
る。トップ・アーティストから国
際コンクールに優勝・上位入賞し
た気鋭までが集い、全国規模で多
彩なプログラムを展開していく。

今年もザ・シンフォニーホール
にクラシック・キャラバンがやっ
てくる。このコンサートの特徴は、
いま最も熱いアーティストたちが
繰り広げるポリュミーなプログ
ラムだ。

コンサート前半は、ワクワクす
るような気分のモーツァルト《歌
劇「フィガロの結婚」》序曲に始ま
る。その後、オーケストラ&ソロ
楽器によるコンチェルトが4曲続
く(第1楽章のみ)。モーツァルト、
ドヴォルザーク、メンデルスゾー
ン、ショパンの人気コンチェルト
を、クラリネットの第一人者の赤
坂達三、カルテット・アマビレ
のメンバーでソリストでも活躍中
のチェロの笹沼樹、人気・実力と
もにいま最も注目されるヴァイオ
リンの南紫音、そして心揺さぶる
情熱的なピアノの長富彩が披露。
後半は、ビゼー《歌劇「カルメン」

でドラマティックなオペラ・プロ
グラムの幕開けを告げる。「カルメ
ン」や「蝶々夫人」などの傑作オ
ペラから、ソロや重唱などバラエ
ティに富んだ超名曲を、日本を代
表するソプラノの林正子、充実し
た活動を展開するメゾ・ソプラノ
の林美智子、知的な歌唱で知られ
るテノールの西村悟、そしてぬく
もりに満ち溢れる歌声で聴衆を魅
了するバリトンの成田博之が彩り
豊かに歌い上げる。また、オペラ
の経験が豊富な指揮者の沼尻竜典
は、自作《歌劇「竹取物語」》から「月
の間奏曲」も披露する。

また、関西二期会がヴェルディ
「ナブッコ」や「イル・トロヴァトー
レ」のなかの合唱曲を歌う。シベ
リウスの《交響詩「フィンランディ
ア」》にも登場し、オーケストラ
と合唱が一体となって壮麗にコン
サートを締めくくる。

オーケストラは、日本中から精
鋭たちを結集したスーパー・クラ
シック・オーケストラ。そして、
昨年は「兵士の物語」でナレーショ
ンに挑み、クラシック音楽のシー
ンでも活躍する俳優の高橋克典
が、今年も司会を務める。
これだけのメンバーが一堂に会
する機会はめったにない。絢爛豪
華なこのコンサートを聴き逃すわ
けにはいかない。

(文 道下京子)

モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」K.492より 序曲／モーツァルト: クラリネット協奏曲 イ長調 K.622より 第1楽章(赤坂達三)／ドヴォルザーク: チェロ協奏曲 口短調 op.104より 第1楽章(笹沼樹)／メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64より 第1楽章(南紫音)／ショパン: アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ op.22(長富彩)／ビゼー: 歌劇「カルメン」第一幕への前奏曲／ビゼー: 歌劇「カルメン」より「ハバネラ」[Mez./Chor.]／ビゼー: 歌劇「カルメン」より「闘牛士の歌」[Bar./Chor.]／ビゼー: 歌劇「カルメン」より「花の歌」[Ten.]／プッチーニ: 歌劇「蝶々夫人」より「花の二重唱」[Sop.&Mez.]／プッチーニ: 歌劇「蝶々夫人」より「あの人を苦しめて」～「さようなら愛の家」[Mez./Ten./Bar.]／ヴェルディ: 歌劇「イル・トロヴァトーレ」より「アンヴィル・コーラス」[Chor.]／ヴェルディ: 歌劇「ナブッコ」より「行け、わが思いよ、金色の翼に乗って」[Chor.]／沼尻竜典: 歌劇「竹取物語」より「月の間奏曲」／ドヴォルザーク: 歌劇「ルサルカ」より「月に寄せる歌」[Sop.]／シベリウス: 交響詩「フィンランディア」op.26[Chor.]

Sop.: 林正子, Mez.: 林美智子, Ten.: 西村悟
Bar.: 成田博之, Chor.: 関西二期会特別合唱団

2022.10/22(土) 3:00PM
\$ 6,500円 A 5,000円 B 3,500円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 / 大阪アートエージェンシー

先行予約: 7/21(木) 一般発売: 7/25(月)



Hollywood Festival Orchestra ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ ニューイヤーコンサート!

戦後の映画史を網羅した聴き応え満点のプログラム

2023年も聴きごたえ満点の公演がずらりと並び、シンフォニーホール。その聴き始めのひととしてぜひおすすめなのが、エントーティメントの本場アメリカからやって来るハリウッド・フェスティバル・オーケストラによるニューイヤーコンサートだ!

1990年に音楽プロデューサーのジョン・ジャイアットティノによってアトランタで結成されたこのオーケストラ。高い演奏技術や音楽解釈力はもちろん、映画、テレビ、ミュージカルに至る幅広いレパートリーを誇ることから、「スター・オーケストラ」と讃えられている。その大人気ぶりは、国内でツアーを行うごとに6週間も各地を回ることや、日本、台湾、中国などで毎年のように海外ツアーを展開していることからよくわかることだろう。

日本ツアーで完売続出。本場ハリウッドからやってくる! 不朽の名作映画を彩った音楽ばかりを続々と披露。

戦後の映画史を網羅した聴き応え満点のプログラム

今回の予定演目は、彼らの十八番である映画音楽。『風と共に去りぬ』『ロッキー』『タイタニック』といった往年の映画ファンを魅了してきたおなじみのナンバー。太女優オードリー・ヘップバーンが主演した『ローマの休日』『ティファニーで朝食を』『シャレード』の名場面を彩る名旋律。そして、映画音楽の巨匠ジョン・ウィリアムズが手がけてきたゴジヤスな名曲集(『E.T.』『スーパーマン』『インディ・ジョーンズ』など)まで。

戦後の映画史をダイジェスト的に網羅した極上のプログラムをお贈りする。

そんな魅惑の公演を指揮および編曲を担当するのは、ロイド・バトラー。アトランタ交響楽団、ピッツバーグ交響楽団、ダラス交響楽団などの名門オケに定期的に客演するクラシック本流の実力派で、ヨーロッパ、オーストラリア、中南米などでも国際的に活躍。他にも、オペラやミュージカルなどの分野でも非常に評価が高い名匠なので、今回も安定力と洗練を備えたタクトで聴き手を魅了してくれるに違いない。

今回はまた、ゲスト歌手としてビリー・キングも参加。彼は幼

[指揮] **ロイド・バトラー**
[管弦楽] **ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ**
[ゲスト歌手] **ビリー・キング**

【オードリー・ヘップバーン特集】ティファニーで朝食を／ローマの休日／シャレード
【ジョン・ウィリアムズの世界】E.T.／スーパーマン／インディ・ジョーンズ／【珠玉の名曲集】ひまわり／風と共に去りぬ／ライムライト／慕情／ニュー・シネマ・パラダイス／ミッション・インポッシブル／ロッキー／タイタニック ほか

2023.1/6(金) 7:00PM

S 10,000円 A 8,000円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 7/21(木)

一般発売: 7/25(月)

(文 渡辺謙太郎)

少期の7歳からステージに立ち続けている早熟の天才で、シンシナティ、ロサンゼルス、ニューヨーク、ラスベガスなどの名門クラブやコンサートホールで長年研鑽を重ねてきた。ハリウッド・フェスティバル・オーケストラの来日公演でもこれまでに4度に渡ってゲスト歌手を担当。5度目となる今回の公演では、さらなる深みと艶やかさを湛えた美声で、指揮者やオケとも絶妙のコンビネーションを聴かせてくれること間違いなし。聴いて、観て、全身で酔いしれることができる最高のエンターテインメントをお聴き逃しなく!!



ザ・キングズ・シンガーズ コンサート
The King's Singers

英国からア・カペラの王様が贈るクリスマスにぴったりの名曲

テーマは世界のクリスマス・ソングと永遠のスタンダード

1968年にケンブリッジ大学キングス・カレッジの学生6人によって結成されて以来、合唱王国イギリスを代表する名門アカペラ・グループとしてヴォーカル・アンサンブル・シーンの頂点に君臨し、その比類ない音楽性と機知に富んだステージ・パフォーマンスで聴衆を魅了してきたザ・キングズ・シンガーズ。これまでにアメリカやアジア、オーストラリア、南米各国などでコンサートを行い、年間100万人以上の観客を動員。2016年には6年ぶりの来日を果たし、5ヶ月にかけて全国を巡回して各地でソールドアウトを続出させ、2018年の結成50周年記念ツアーで大成を収めたのも記憶に新しい。

現在のメンバーは、カウナー・ターナーのバトリック・ダナキー(2016年)とエドワー



ド・バトン(2019年)に、テノールのジュリアン・グレゴリー(2014年)、バリトンのクリストファー・ブリュートン(2012年)とニック・アシュビー(2019年)、バスのジョナサン・ハワード(2010年)を加えた6人。その顔ぶれは様々な変遷を経て入れ替わり、今に至っているが、その構成(カウナー・テナー×2、テノール×2、バリトン×2、バス)は結成当初から不動。それぞれがソロ的に歌うのではなく、感情を抑えたノン・ビブラートで6人のハーモニーを第一に考える歌唱がそのユニークなサウンドを支えてきた。特に英国人の父親と日本人の母親のもとに生まれ「日本語の響きが大好き」というジュリアンは、その親しみやすい容姿からも我々にとってこのグループがより身近に感じられる存在となっている。

専用のライブラリーに3,500曲以上の楽譜を収容する広大なレパートリーを誇り、そのジャンルも中世・ルネサンスの音楽から、クラシックの歌曲、世界の民謡やジャズ、ポップスまでと幅広い。またベリオ、リゲティ、ペンデレツキ、武満徹、ウイテカーら各時代を代表する作曲家と200を超えるコラボレーションを重ねてアカペラ作品の創作や委嘱にも

[出演] **ザ・キングズ・シンガーズ**

《クリスマス・スペシャルプログラム》アイルランド民謡: ダニーボーイ / イギリス民謡: グリーンズリーブス / レノン & マッカートニー: イエスタデイ / グルーバー: きよしこの夜 / バーリン: ホワイトクリスマス ほか

2022.12.15(木) 7:00PM

全席指定 10,000円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 7/21(木) 一般発売: 7/25(月)

力を入れ、常に「現代性」にこだわって来たのも彼らの強みである。

12月15日のザ・シンフォニーホール公演は、世界のクリスマス・ソングと永遠のスタンダードをテーマにしたスペシャルなプログラムを予定。古のクリスマス・キャロルから「ダニーボーイ」「グリーンズリーブス」といった民謡、ピートルズ・ナンバー、もちろん「きよしこの夜」や「ホワイトクリスマス」などの定番曲まで盛り沢山。聴き慣れた楽曲や大好きなあの名曲たちも、英国紳士らしい凛とした佇まいや上品なユーモアが漂う彼らのステージでいっそう輝きを増すはず。きっと忘れられない素敵な夜になる!

(文 東端哲也)



**作風の異なる傑作を
多角的に披露していく**

聖なるクリスマスが間近に迫る午後のひとときを、ザ・シンフォニーホールが誇るパイプオルガンと共に過ごす恒例の公演。「クリスマスオルガンコンサート2022」が、今年も華やかに開催される。

演奏は、大阪出身の富田一樹。大阪音楽大学でオルガンを学んだ彼は、この楽器の本場ドイツに留学してさらなる研鑽を積み、2016年に第20回バッハ国際コンクールで日本人初優勝を飾った。以降は全国各地で八面六臂の活躍を繰り広げていることは周知のとおりだ。

中学時代にバッハのオルガン作品の録音を聴いて感銘を受けたことがきっかけでオルガニストを

志したという富田。過去のインタビューにおいて、「荒々しかったり、包まれるようだったり、多彩な音色を持っているところに興味を持った」「たつぷりと響くハーモニ。バッハほどドラマチックなハーモニを作る人はいないので、僕も大切にしていきたい」と語っている。

ザ・シンフォニーホールが誇るオルガンのパイプの総数は3732本。その数だけ音色のパレットがあり、演奏は大オーケストラにも匹敵する所以となっている。探求を続けてきた富田だからこそ作り出すことができる音色に、是非注目してほしい。

そして12月のコンサートでは、富田が敬愛してやまないバッハの作品を中心に演奏。「前奏曲とフーガ」「甘き喜びのうちに」「トッカータとフーガ」といった、オルガンファンには聴き馴染みのある名曲たちは、瑞々しい感動を湛えた新たな響きとなって聴き手のもとへと届くことだろう。

また今回はバッハ以外にも、ベリエ「トッカータ」、パッヘルベル「シャコンヌ」、サン＝サーンス「アヴェ・マリア」、フォーレ「ピアノ・ソナタ」など、作風の異なる傑作を多角的に披露していく。それらの聴き比べをとおして、パイプオルガンの多彩な音色と奥深い魅力

[オルガン] 富田一樹

G.ベリエ:トッカータ ニ短調/J.パッヘルベル:シャコンヌ ヘ短調 P.43/サン＝サーンス:アヴェ・マリア/G.フォーレ:ピアノ・ソナタ第3番 G.F.ヘンデル:オンブラ・マイ・フ/J.S.バッハ:前奏曲とフーガ ハ短調 BWV549/J.S.バッハ:天使の群れ、天より来れり BWV607/J.S.バッハ:甘き喜びのうちに BWV608/J.S.バッハ:我らキリストを讃えまつらん BWV611/J.S.バッハ:トッカータとフーガ ヘ長調 BWV540

2022.12/23(金) 2:00PM ※休憩なし。約60分のコンサートです。

全席指定 3,000円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 7/21(木) 一般発売: 7/25(月)

(文 渡辺謙太郎)

がますます際立つに違いない。もう一つの聴きどころが、「音楽の父」バッハと並ぶ功績から、「音楽の母」の異名を持つヘンデルの代表作として知られる「オンブラ・マイ・フ」。ザ・シンフォニーホールのオルガンの魅力である温かく豊麗な響きとびつたりな、クリスマスの雰囲気はこの上なくふさわしい名演を期待しよう。

プロジェクションマッピング×パイプオルガン 超絶のスター・ウォーズ 2022

今年も、パイプオルガンがスゴ過ぎる!!

スゴ過ぎる! 1
荘厳さを感じるだけじゃない! 多彩な音色でパイプオルガンの魅力を発見!

スゴ過ぎる! 2
ホール全体が大型スクリーンに変わり、煌びやかな映像を次々に映し出す!

スゴ過ぎる! 3
まるでアトラクション! お客様みんなで大ヒット映画音楽の世界へ!

今年も完売必至! 音と光の“超絶”な融合に大興奮!

PROGRAM

「インディ・ジョーンズ」より レイダース・マーチ
「ハリー・ポッター」より メドレー ★
「E.T.」より フライイング・テーマ
「ジョーズ」より メイン・タイトル
「ジュラシック・パーク」より
ジュラシック・パークへようこそ ★
「スター・ウォーズ」より メドレー ★
「バック・トゥ・ザ・フューチャー」より テーマ ★
「パイレーツ・オブ・カリビアン」より メドレー ★
(順不同) ★=プロジェクションマッピング付き

ザ・シンフォニーホールが誇るパイプオルガンの演奏と迫力満点のプロジェクションマッピングの演出で、2016年のシリーズ開始から注目されている「超絶」コンサート。このシリーズの元祖企画として人気を博し、これまで何度も開催されてきた「超絶のスター・ウォーズ」。ホールの風物詩のひとつとして注目度が高く、毎回完売を記録しているコンサートがパワーアップして帰ってきます。

タイトルに冠している「超絶」の名のとおり、毎回コンサートを楽しむお客様からは「とにかくスゴかった!」という声ばかり! ここでは、そのスゴ過ぎるポイントをご紹介します。

まずは、舞台に向かって正面・

天井・左右が巨大スクリーンとなり、「スター・ウォーズ」をはじめ「ハリー・ポッター」「バック・トゥ・ザ・フューチャー」などの大ヒット映画の音楽に合わせて、映像が次々に映し出されます。煌びやかでスリリングな映像に大興奮すること間違いなし!

ザ・シンフォニーホールのお客様にはすでにおなじみの、オルガニスト大木麻理が作り出す多彩過ぎる、パイプオルガンの音との融合によって、ここぞしか体感できない唯一無二の感動が待っています!

コンサートの幕開けから最後まで、感動と興奮が止まらない、めくるめくファンタジックな世界を是非、お楽しみください!

[オルガン] 大木麻理

2022.11/26(土) 3:00PM

全席指定 3,000円 (税込)

※休憩なし。約60分間のコンサートです。

※4歳以上のお子様からご入場可能です。

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 7/21(木) 一般発売: 7/25(月)

デビュー20周年× ザ・シンフォニーホール開館40周年 上原彩子 プレミアム・リサイタル



ダイナミックな魅力溢れるプログラム 圧巻の演奏に釘付け

メリハリや色彩感が増した表現力が光る多彩なレパートリー
最難関の一つとして名高いチャイコフスキー国際コンクールのアノ部門で、日本人初かつ女性として初優勝を飾ってから、早いもので20年。ザ・シンフォニーホールでも名物企画「熱狂コンチエルト」に出演するなど、持ち前の誠実かつ情熱的な演奏で人気の高い上原彩子。今回、自身のデビュー20周年とザ・シンフォニーホール開館40周年を記念したリサイタルを行う。

チャイコフスキーコンクール覇者ということもあり、ロシア音楽が得意と思われがちな彼女だが、今回は多彩な演目を披露。

まず、ドイツ・ロマン派の巨匠シューマンの傑作として名高い「幻想小曲集」を披露。全8曲からなるこの曲集は、各曲に文学的な標題が与えられており、幻想的な情緒に満ちているのが特長だ。妻クララと結婚する前に作曲者が抱いていた夢や苦しみが表現されたとされる各曲に、上原がどのような弾き分けと繋がりを見出すかに注目が集まる。

続いては、ハンガリーの天才ピアニスト&作曲家リストが、前述のシューマンが彼に献呈した幻想曲の返礼として捧げた大規模なソナタ。ソナタにも関わらず、単一楽章で書かれていることから、次々に変容していく主題をどのような流れによってまとめ上げるかが課題。上原が本作を弾くのは今回が初めてだそうで、インタビュでは、「リストのソナタは大曲なので構成力が必要。あの悪魔的な地獄と天国的な歓喜をどのように表現するか」とコメント。その知性と感性が拓く新境地に期待しよう。

そして、上原が2005年発表の録音にも収録した十八番でもあるムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」。作曲者が親友の画家の死を悼み、その遺作展を訪ねた際の印象が描かれており、曲ごとに拍節を変えることで、歩きながら絵画を見て回る様子を伝えている。録



音時には、その抑制と設計力の見事さを、大和なでしこの秘めたる情念の吐露」と評された上原。それから17年の時を経て、さらなる深みと洗練を湛えながら、メリハリや色彩感も増した名演を聴かせてくれることだろう。

(文 渡辺謙太郎)

[ピアノ]上原彩子

シューマン:幻想小曲集 op.12(タベに／飛翔／なぜ／気まぐれ／夜に／寓話／夢のもつれ／歌の終わり)／リスト:ピアノ・ソナタ 口短調 S.178 / R. 21 / ムソルグスキー:組曲「展覧会の絵」

2022.8/7(日) 2:00PM

全席指定 5,000円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中



仲道郁代 ショパンを弾く ～希望と再生への祈り～

新しい可能性と希望に満ちたコンサート
2022年1月16日のザ・シンフォニーホール。仲道郁代によるベートーヴェンの四大ピアノ・ソナタのリサイタルは、大好評のうちに終わった。1987年デビュー以来、ピアノ界をつねに牽引し、人気、実力ともに日本を代表する奏者の仲道は、ここ数年、その輝かしいテクニックと繊細な表現力にさらなる磨きがかかり、ピアノ・ソナタとして新たな高みにのぼりつつあるように思われる。その大きな成果は、2021年秋に開催したリサイタルでも証明された。「幻想」をキーワードに、ブラームス

やスクリービンなどによる練り上げられたプログラムでピアノ音楽におけるファンタスティックな魅力を存分に描きあげたこの一夜は、各方面から極めて高く評価され、文化庁芸術祭大賞と文化庁長官表彰を受けた。

ザ・シンフォニーホールは仲道がデビューを飾った地のひとつ。ファンの熱いリクエストにこたえて、11月6日、リサイタル「仲道郁代 ショパンを弾く」希望と再生への祈り」を開催する。オール・ショパン・プログラムという王道の選曲で、ピアノという楽器の可能性を追求しつくす意欲的な一夜である。



リサイタルは、まずポロネーズ第1番 嬰ハ短調、ポロネーズ第2番で始まり、「革命」の名で知られる12の練習曲ハ短調に「別れの曲」として親しまれている12の練習曲 ホ長調が続く。これら2つの練習曲は、ショパンを代表する名作で、短いながらも聞き手の心の琴線にふれる豊かな内容をもつ。さらにバラード 第1番 短調、そしてワルツ 第1番 変ホ長調「華麗なる大円舞曲」にノクターン「美しい調べ」の3曲ののち、最後の「アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ」変ホ長調では、ポーランドの民族リズムの名作で輝かしくリサイタルはしめくられる予定だ。

(文 伊藤制子)

[ピアノ]仲道郁代

《オール・ショパン・プログラム》ポロネーズ 第1番 op.26-1 嬰ハ短調／ポロネーズ 第2番 op.26-2 変ホ長調／12の練習曲 op.10-12 ハ短調「革命」／12の練習曲 op.10-3 ホ長調「別れの曲」／バラード 第1番 op.23ト短調／ワルツ 第1番 op.18 変ホ長調「華麗なる大円舞曲」／ノクターン 第1番 op.9-1 変口短調／ノクターン 第2番 op.9-2変ホ長調／ノクターン 第3番 op.9-3 口長調／アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ op.22 変ホ長調

2022.11/6(日) 2:00PM

全席指定 4,500円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

DOS DEL FIDDLES(ドス・デル・フィドル) Vクラシック

一期一会の「ロック」の名演に期待!

[ヴァイオリン]石田泰尚、崎谷直人
[チェロ・ギター]伊藤ハルトシ [ピアノ]園田 涼

ヴィジュアルディの四季メドレー 春・夏・秋・冬／紅(X JAPAN)／ロマンス(PENICILLIN)／END OF SORROW(LUNA SEA)／グロリアス(GLAY) ほか

2022.8/20(土) 2:00PM

全席指定 5,500円 (税込)

[お問い合わせ]Mitt 03-6265-3201

[主催]日本コロムビア/ザ・シンフォニーホール

発売中



崎谷直人

石田泰尚

日本のヴィジュアルロックの代表曲を新たな装いでお届け

噂の、最強ユニットが、ザ・シンフォニーホールに初上陸!

石田組、三浦一馬キンテートなどで、ザ・シンフォニーホールに集う大阪のファンにはすっかりおなじみの、強面ながら繊細で洗練された演奏で魅了する名手・石田泰尚とウエルズ弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者および、国内各地でゲスト・コンサートマスターを務める若き実力派・崎谷直人。最強のヴァイオリン2人組として話題を集めるドス・デル・フィドルだ。

彼らのレパートリーは幅広く、クラシックからピアソラ、ジブシー、アイリッシュユースにロックまで。2020年にデビュー盤を発表以来、縦横無尽に駆け抜けてきた彼らだが、今回は前半にヴィジュアルディ「四季」をはじめとした十八番をロック調に編曲して演奏し、後半はX JAPAN「紅」、PENICILLIN「ロマンス」、LUNA SEA「END OF SORROW」、GLAY「グロリアス」といった、日本のヴィジュアルロックと呼ばれる大人気バンドの代表曲を新たな装いでお届けする。

また、今回はチェロとギターを自在に弾き分け、ポップスサポートをはじめ様々な分野で活動する鬼才・伊藤ハルトシと、東大卒のクロスオーバーピアニスト・園田涼が共演するのも聴きどころのひとつだ。この4人にしか成し得ない、足し算ではなく掛け算の、一期一会の名演をくれぐれもお聴き逃しなく!!

(文 渡辺謙太郎)

美しき日本のうた 秋 2022

聴く者の琴線にふれる秋の名曲づくしのコンサート

[ソプラノ]幸田浩子 [ピアノ]藤満 健

この道／野薔薇／からたちの花／曼珠沙華／薔薇の花に心をこめて／ちいさい秋みつけた／美しい秋／宵待草／里の秋／浜辺の歌／初恋／平城山／ふるさとの／美しき日本のうた 2022(ピアノ・ソロ)(編曲:藤満 健)／見上げてごらん夜の星を／ Gondolaの唄／遠くへ行きたい ほか

2022.10/9(日) 2:00PM

全席指定 4,400円 (税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



ソプラノ 幸田浩子

お客様の「あの頃」を思い起こす、秋の情緒に溢れたスタンダード

少しずつ寒さが深まる秋。いつもより外の景色を美しく感じ始めるこの季節は、哀愁漂う、優しく懐かしい歌が聴きたくなる。秋の定番曲から、抒情歌、愛唱歌をあますことなくお届けするのが、ザ・シンフォニーホールの人気シリーズ「美しき日本のうた 秋」だ。この公演を毎年楽しみにしているファンも多いだろう。今年も日本を代表するソプラノ歌手 幸田浩子が、唯一無二の歌声で届ける。

国内外のステージで数々のオペラ作品に出演、ウィーンの名門フォルクスオーパーの専属歌手としても活動をしてきた幸田は、幅広い表現力で日本歌唱でも聴くものを魅了。2020年には日本のうたを集めたCDもリリースしている。

3年連続の出演では、回を重ねたからこそその趣向を凝らした曲目が並ぶ。幸田が「秋にこそ自分も聴きたいうたを選んでみしたい」という曲目には、「ちいさい秋みつけた」「この道」などの唱歌から「Gondolaの唄」「遠くへ行きたい」などの歌謡曲、「見上げてごらん夜の星を」という日本を代表する一曲まで。お客様の「あの頃」を思い起こす、秋の情緒に溢れた永遠のスタンダードばかりが揃う。

大阪出身の幸田にとって、ザ・シンフォニーホールでのリサイタルは格別の想いがあると言、「皆が親戚が友達のように。ことのほか盛大な拍手をくださるのも大阪ならでは」と語る。そんな温かく優しいステージをじっくりと堪能してほしい。

今夏の自由研究はザ・シンフォニーホールで!
見て・聴いて・知って楽しいコンサート♪

夏休み 関西フィル第8回
親子定期演奏会
自由研究は、
これで決まり!!
~200年前のヨーロッパの
音楽と画家~



関西フィルハーモニー管弦楽団

指揮 藤岡幸夫 (関西フィル 首席指揮者)

研究ポイント

- ① ロマン派って何だろう?
- ② 世界的に有名な絵画を知ろう!
- ③ 生のオーケストラサウンドを体感!

同じ時代を生きた音楽と絵画を堪能出来るコンサート

小学生の夏休みの宿題、最大の悩みは、時が移ろいでも変わることがない……。自分でテーマを見つけて、それを深く突き詰める自由研究に苦戦してしまいがちなお子さまと、それを見守る親御さんは今年も多いことだろう。

そんな皆様にザ・シンフォニーホールから朗報! 関西フィルハーモニー管弦楽団が夏休みにお届けする親子定期演奏会が今年も盛大に開催される。

このシリーズは8回目だが、「夏休み、自由研究はこれで決まり!」の選曲と演出では3回目の開催となる。テーマは「200年前のヨーロッパの音楽と画家」で、19世紀初頭から20世紀初頭にかけて発展したロマン派音楽の巨匠と、時代に活躍した画家とその作品をリンクさせながら、当時の個性がかつ洗練された芸術の真の魅力に迫ってゆく。

[指揮]藤岡幸夫
[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団
[司会]空井仁美

ロッシーニ: 歌劇「ウィリアム・テル」序曲から「スイス軍の行進」【絵画:セザンヌ】/ ビゼー: 組曲「アルルの女」から「バストラル」"メヌエット" "ファランドール"【絵画:ミレー】/ ドビュッシー: 「小組曲」から「小舟にて」"行進曲"【絵画:モネ】/ ドヴォルザーク: 交響曲 第9番「新世界より」第4楽章【絵画:ミュシャ】/ ヨハン・シュトラウス2世: ポルカ「雷鳴と電光」"アンネンポルカ"【絵画:クリムト】/ グリーク: 組曲「ホルベアの時代」から「前奏曲」、「抒情組曲」から「トロルの行進」【絵画:ムンク】/ チャイコフスキー: 3大バレエ音楽から「白鳥の湖」より「情景」"4羽の白鳥の踊り" "ナボリの踊り"、"眠りの森の美女"より「パノラマ」"ワルツ"、"くるみ割り人形"より「トレパック」"草笛の踊り" "花のワルツ"【絵画:イリヤ・レービン】

2022.8/6(土) 2:00PM

全席指定 4,000円 (税込)

※4歳以上のお子様からご入場可能です。

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール/

公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団

学校にそのまま提出できる
研究シートをプレゼント!

発売中

力と魅力をクロージングアップ。

ロシアのチャイコフスキーの優美でメランコリックな3大バレエ名曲集には、近代ロシア絵画の分野でチャイコフスキーに匹敵する足跡を残したイリヤ・レービンを……といった具合に、親子一緒に「見て、聴いて、楽しめる」のが嬉しい。

指揮を務めるのは、メディア出演や書籍執筆にも積極的な名匠・藤岡幸夫。さらに絵画をスクリーンに映し出し紹介をした上、それらをまとめながら記入して、「自由研究」として、学校にそのまま提出できる、研究シートまで来場者全員にプレゼントする。まさに「自由研究は、これで決まり!」だ!!

(文 渡辺謙太郎)

Le coffre à musique ~音楽の宝石箱~

尾高忠明&大阪フィルによるフランス音楽。
豊かな作品がキラキラと詰まった宝石箱。

2022.8/25(木) 7:00PM

[指揮]尾高忠明

[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

発売中

デュカス:「ペリ」より「ファンファーレ」/イベール:ディヴェルティスマン/ビゼー:組曲「アルルの女」(抜粋)/ドビュッシー:小組曲(ビュッセル編)、交響詩「海」

2022.11/25(金) 7:00PM

[指揮]尾高忠明 [ピアノ]岡田 奏

[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

《オール・ラヴェル・プログラム》組曲「マ・メール・ロワ」/「ダフニスとクロエ」第2組曲/ピアノ協奏曲ト長調/ボレロ

※大阪フィル・チケットセンター他、プレイガイドは7/26(火)より一般発売

先行予約:7/21(木) 一般発売:7/27(水)

各公演 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円 (税込)

[お問い合わせ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

[主催]公益社団法人大阪フィルハーモニー協会/ザ・シンフォニーホール
チケット先行予約に関するお問い合わせ:ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333



指揮 尾高忠明

大阪フィルハーモニー交響楽団と音楽監督を務める尾高忠明は、フランス音楽に焦点をあてた全3回のシリーズを6月〜11月で開催中だ。

尾高は音楽監督就任以来、毎年「作曲家シリーズ」を実施してきた。今年は作曲家の枠を超えて、柔らかく、色彩豊かなサウンドが印象的なフランス音楽をフィーチャーする。

6月に行われた1回目は、プーランクのオルガン協奏曲、デュリュフレのレクイエムなど、3曲を披露。穏やかで美しいサウンドで聴衆を魅了し、次回への期待を高めた。第2回目は8月開催。宝石箱の中にあるような、キラキラとした音楽を体感してほしい。

夏休み、子どもたちと未来へ!

前回好評につき、夏公演も開催!
家族で楽しむクラシックコンサート

[指揮]守山俊吾 [管弦楽]シンフォニア・アルシスOSAKA ほか

ドヴォルザーク:交響曲 第9番「新世界より」/ビゼー:歌劇「カルメン」より ほか

2022.8/22(月) 3:00PM

全席指定 一般 4,000円 中学・高校生 2,000円 小学生以下 100円 (税込)

※中学・高校生券はミュージック・アート・ステーションでのみ販売。

※乳幼児のお子様も(お膝の上でも)必ず座席券をご購入ください。

[お問い合わせ]ミュージック・アート・ステーション 06-6836-7067

[主催]国際交流協会

発売中



指揮 守山俊吾

指揮 守山俊吾が企画し、4月に開催された『春休み、子どもたちと未来へ』。コンサートの様子がテレビでも取り上げられるなど、大好評だったこの公演の第2弾が決定しました。

8月の公演では、ドヴォルザークの交響曲 第9番「新世界より」と世界三大オペラであるビゼーの歌劇『カルメン』よりを中心に演奏されます。

「感受性が豊かな子どもにこそ、生のクラシックを届けたい」というコンセプトのもと生まれたこの企画は、0歳のお子様から入場可能!たくさんのお子様に、クラシック音楽のコンサートをより身近に気軽に楽しんでもらうことをテーマとしています。

例えば拍手のタイミング。いつ拍手をすればいいのか? など、頭で難しく考えなくても大丈夫です。心から音楽で感動したそのときに、力いっぱい拍手を贈ってください。

そしてこの公演に限っては演奏中の撮影も可能。前回は演奏の様子を絵に描いたお子様もたくさんいました。感動したシーンをカタチに残すことができるのも、このコンサートならではのでしょう。

また、今回は楽器の演奏経験があるパパ&ママが、プロのオーケストラと共演出来るという画期的な企画も! 奏者と同じ、ザ・シンフォニーホールのステージに立って演奏ができるチャンスです。(ご応募についての詳細は「公演お問い合わせ」まで)。ファミリーでは是非お越しください!